

2024 年度 日本計量生物学会年会

主催：日本計量生物学会

後援：応用統計学会

2024 年 5 月 10 日（金），11 日（土）

会場：九州大学医学部 百年講堂

〒812-8582 福岡市東区馬出 3 丁目 1 番 1 号：

<https://www.med.kyushu-u.ac.jp/100ko-do/>

会場および Zoom によるハイブリッド開催

- 5 月 10 日（金） 13:30～13:40 開会の挨拶（大ホール）
13:40～15:40 特別セッション 1
『異質因果効果の推定：
個別化医療選択への理論と実践』（大ホール）
16:00～17:50 一般講演：パラレルセッション
『臨床試験(1)』（大ホール）
『因果推論・数理モデル』（中ホール 1・2）
- 5 月 11 日（土） 9:30～10:40 一般講演：パラレルセッション
『因果推論』（大ホール）
『臨床試験(2)』（中ホール 1・2）
11:00～12:00 特別セッション 2 『私と計量生物学』（大ホール）
12:00～13:00 ポスターセッション（大ホール前交流ロビー）
13:30～14:30 日本計量生物学会総会・学会賞授与式（大ホール）
14:40～15:50 一般講演：パラレルセッション
『臨床試験・臨床研究』（大ホール）
『メタアナリシス・回帰モデル』（中ホール 1・2）

16:10～17:20 一般講演：パラレルセッション
『疫学』（大ホール）
『モデリング』（中ホール1・2）
17:25～17:40 若手優秀発表賞表彰（大ホール）

年会参加費：正会員 3,000 円，応用統計学会員 3,000 円，非会員 5,000 円，
学生（正会員，非会員とも）1,000 円

2024 年度

日本計量生物学会年会プログラム

5月10日(金) 13:30~17:50 (開場 13:00), 11日(土) 9:30~17:40 (開場 9:10)

会場: 九州大学医学部 百年講堂

会場およびZoomによるハイブリッド開催

主催: 日本計量生物学会

後援: 応用統計学会

年会参加費: 正会員 3,000円, 応用統計学会員 3,000円, 非会員 5,000円,
学生(正会員, 非会員とも) 1,000円

チュートリアルセミナー

主催: 日本計量生物学会, 応用統計学会

日時: 5月10日(金) 9:00~12:00 (開場 8:30)

会場: 九州大学医学部 百年講堂 (会場およびZoomによるハイブリッド開催)

テーマ: 高次元データに対するモデル選択

オーガナイザー: 西山 貴弘 (専修大学), 山本 紘司 (横浜市立大学)

講師: 梅津 佑太 (長崎大学 情報データ科学部)

参加費: 正会員 2,000円, 非会員 4,000円, 学生(正会員, 非会員とも) 1,000円

日本計量生物学会年会

5月10日(金)

13:00 開場・Zoom入室開始

13:30~13:40 開会の挨拶(大ホール) 日本計量生物学会長 服部 聡

13:40~15:40 特別セッション1: 異質因果効果の推定: 個別化医療選択への理論と実践
(大ホール)

オーガナイザー: 竹内 由則(横浜市立大学)

座長: 竹内 由則(横浜市立大学), 菅澤 翔之助(慶應義塾大学)

○ なぜ臨床研究者がHTEの必要性を感じたか: 敗血症におけるランダム化比較試験のターゲットを推定する

後藤 匡啓(TXP Medical)

○ 効果の異質性に着目した個別化医療戦略: 高ベネフィット・アプローチ

井上 浩輔(京都大学)

○ 複数の異質因果効果推定量のベイズ的統合

菅澤 翔之助(慶應義塾大学)

○ 階層Bayesian bootstrapを用いた異質因果効果の推定

大東 智洋(東京理科大学)

15:40~16:00 休憩

16:00~17:50 一般講演: パラレルセッション

『臨床試験(1)』(大ホール)

座長 嘉田 晃子(藤田医科大学)

Blinded sample size re-estimation in dose-response trials with MCP-Mod

福山 祐紀, 本間 剛介(日本ベーリンガーインゲルハイム)

二値評価項目を用いたアダプティブシームレスデザインに対する解析法

石井 亮太(筑波大学), 高橋 健一(MSD), 丸尾 和司, 五所 正彦(筑波大学)

欠測により測定回数が不揃いな条件下でのrepeated measures correlationの提案

近藤 雅大, 長島 健悟, 佐藤 泰憲(慶應義塾大学)

新興感染症を対象とした臨床試験における治療効果評価戦略の検討

清水 陽介, 上村 夕香理(国立国際医療研究センター), 坂巻 顕太郎(順天堂大学)

単群臨床試験における Cox モデルの応用

魚住 龍史 (東京工業大学)

『因果推論・数理モデル』(中ホール1・2)

座長 長島 健悟 (慶応義塾大学)

曝露確率モデル誤特定下でも達成可能な共変量バランスと様々な重み付け推定量のバイアス:

Balancing approach と Modeling approach の架橋

岩田 修弥, 篠崎 智大 (東京理科大学)

有効サンプルサイズを利用した傾向スコアに基づく治療効果推定手法の選択

藤田 秋仁 (東京薬科大学/東京医科大学),

田栗 正隆, 原田 和治, 折原 隼一郎 (東京医科大学)

Invalid な操作変数存在下での教師あり次元縮約法について

坪谷 圭恵 (同志社大学), 土田 潤 (京都女子大学), 宿久 洋 (同志社大学)

打ち切り存在下でのデータ融合を用いた平均生存時間の推定

岡本 憲暁 (慶應義塾大学), 折原 隼一郎, 原田 和治 (東京医科大学)

遺伝子の発現量と経路地図にもとづくシグナル伝達経路異常の検出の数理モデル

騎西 健太, 大森 崇 (京都大学)

5月11日(土)

9:10 開場・Zoom入室開始

9:30~10:40 一般講演: パラレルセッション

『因果推論』(大ホール)

座長 篠崎 智大 (東京理科大学)

パラメトリックコピュラモデルを用いた相関のある生存時間データにおける

Mann-Whitney 効果の推定

中藺 孝輔 (統計数理研究所), 魚住 龍史 (東京工業大学),

江村 剛志 (統計数理研究所/久留米大学)

時間依存的な操作変数が存在する場合の時間依存性治療効果の推定方法の提案

福井 大介, 田栗 正隆 (東京医科大学)

二項回帰モデルにおける Firth の補正推定値の存在性について

小川 光紀 (東京大学), 塘 由惟 (慶應義塾大学)

『臨床試験(2)』(中ホール1・2)

座長 上村 鋼平 (東京大学)

盲検下分散上限評価による RMST に対する症例数再計算

前田 裕匡 (大阪大学), 宇野 一 (ダナ・ファーバー癌研究所), 服部 聡 (大阪大学)

Hybrid control を用いた臨床試験における多重代入法による欠測データへの対処
島田 直, 田栗 正隆, 折原 隼一郎 (東京医科大学)

主要評価指標を順序カテゴリーとする場合の臨床試験の検定
緒方 涼太, 大山 哲司, 柳川 堯 (久留米大学)

10:40~11:00 休憩

11:00~12:00 特別セッション2: 私と計量生物学 (大ホール)

オーガナイザー: 川口 淳 (佐賀大学), 口羽 文 (帝京大学), 長谷川 貴大 (塩野義製薬),
横田 勲 (北海道大学)

座長: 長谷川 貴大 (塩野義製薬), 武富 奈菜美 (久留米大学/広島大学), 稲葉 洋介 (東京大学)

丹後 俊郎 (医学統計学研究センター)
『私と計量生物学』

12:00~13:30 ポスターセッション (大ホール前交流ロビー) / 休憩

[P1] 臨床試験における2つの主要評価変数の関数関係を考慮した標本サイズ設計法
高巢 人碩, 寒水 孝司 (東京理科大学)

[P2] 肝移植における分割肝の受入れに対する患者の利益の評価
稲葉 洋介 (東京大学), 川崎 洋平 (埼玉医科大学)

[P3] 一般化平均に基づくマルチスケールt-SNE
塘 由惟 (慶應義塾大学), 米岡 大輔 (国立感染症研究所)

[P4] がん細胞株ハイコンテンツ画像経時測定データに基づく細胞周期予測モデルの構築
武内 一真 (帝京大学), 西村 由美子, 松原 孝宜 (がん研究会), 鈴木 明日香 (帝京大学),
且 慎吾 (がん研究会), 松浦 正明 (帝京大学)

[P5] Correlations between rice growth and climatic factors
Chih-Yu Hsieh, Hungyen Chen (National Taiwan University)

[P6] 相対所信比を用いた製造販売後に同定されたリスク確認のための使用成績調査データの定量的な評価
丸谷 あおい, 眞下 奈々 (イーピーエス), 高木 佑実, 大森 崇 (京都大学)

[P7] ICH E19 ガイドラインの紹介
酒井 弘憲 (日本製薬工業協会/エーザイ), 渡部 ゆき子 (日本製薬工業協会/中外製薬)

13:30~14:30 日本計量生物学会総会・学会賞授与式 (大ホール)

14:30~14:40 休憩

14:40~15:50 一般講演：パラレルセッション

『臨床試験・臨床研究』（大ホール）

座長 安藤 宗司（東京理科大学）

ラテン方格によるクロスオーバー試験における KKT 条件に基づく順序制約のある推定量を用いた群間比較

齋藤 和宏（タクミインフォメーションテクノロジー）

タイムトレンドを伴うプラットフォーム試験における Cox 比例ハザードモデルの性能評価

渡辺 晋, 佐藤 宏征, 平川 晃弘（東京医科歯科大学）

Augmented IPW 推定量の補正項を修正した安定的な因果効果の推定量の提案

折原 隼一郎（東京医科大学）, 篠崎 智大（東京理科大学）

『メタアナリシス・回帰モデル』（中ホール1・2）

座長 野間 久史（統計数理研究所）

固定効果メタアナリシスにおける共通平均の推定量の一致性

武富 奈菜美（久留米大学／広島大学）, 江村 剛志（統計数理研究所／久留米大学）

有効サンプルサイズを用いた時点生存割合の比や差を統合指標として要約するメタアナリシス

森 博隆, 横田 勲（北海道大学）

ミカエリス・メンテン式の線形変換による誤差伝播の実際

高橋 行雄（BioStat 研究所）

15:50~16:10 休憩

16:10~17:20 一般講演：パラレルセッション

『疫学』（大ホール）

座長 伊藤 陽一（北海道大学）

二つのミラー統計量を用いた交絡因子の選択における偽陽性率の制御

原田 和治, 田栗 正隆（東京医科大学）

原爆被爆者コホートにおける競合イベントの大腸がんリスク推定値への影響

三角 宗近, 杉山 裕美（放射線影響研究所）

リスク比, リスク差の推定における Firth 型の罰則付き修正ポアソン, 最小二乗回帰モデルの検討

宇野 慧（総合研究大学院大学）, 野間 久史（統計数理研究所）, 五所 正彦（筑波大学）

『モデリング』（中ホール1・2）

座長 川野 秀一（九州大学）

高次元・スパースな線形モデルにおける一般化リッジ回帰と R パッケージ「g.ridge」

江村 剛志（統計数理研究所／久留米大学）, 松本 晃太郎（久留米大学）,

魚住 龍史（東京工業大学）, 道前 洋史（北里大学）

集団分化の時期とボトルネックの階層ベイズ推定

岸野 洋久（中央大学）、中道 礼一郎（水産研究・教育機構）、北田 修一（東京海洋大学）

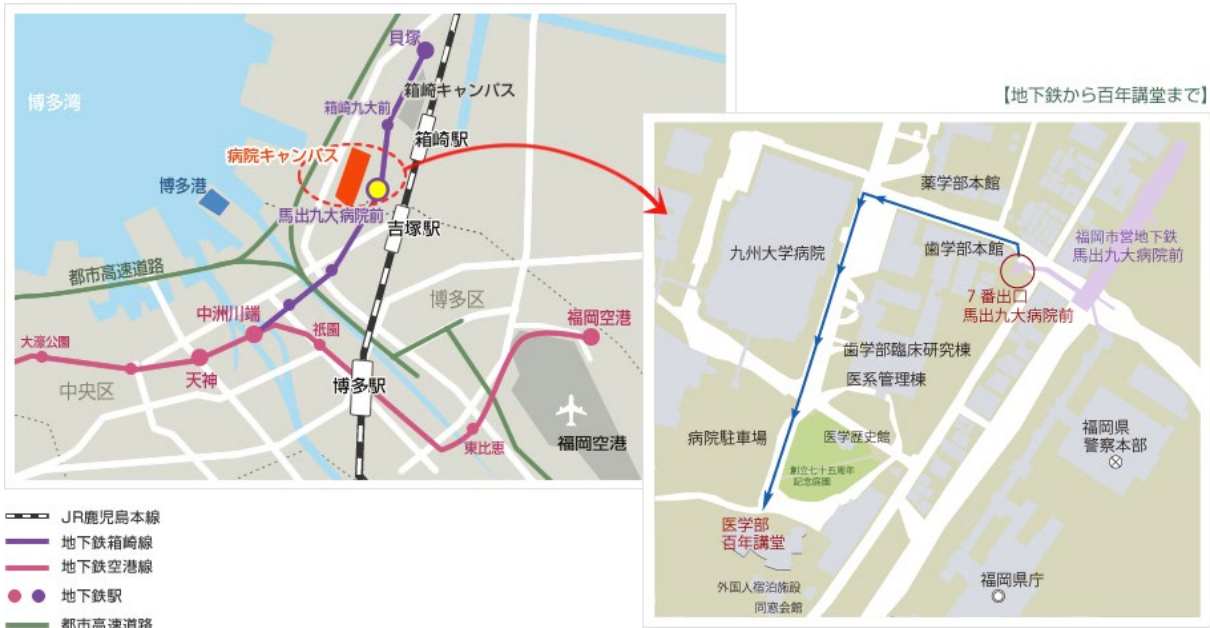
傾向スコア解析のための焦点型情報量規準

二宮 嘉行（統計数理研究所）

17:25～17:40 若手優秀発表賞表彰（大ホール）

17:40 閉会

※一般講演における各演題時間は20分（発表時間15分、質疑応答5分）とする。



地下鉄箱崎線「馬出九大病院前」下車 徒歩8分

【福岡空港からお越しの場合】



【JR博多駅からお越しの場合】



百年講堂平面図

